



第 89 卷 総目次

平成 18 (2006) 年

【論説】

西国国衙における在庁官人制の解体	小原嘉記	二(一七九)
中世北イタリア《準都市》共同体の形成と発展	佐藤公美	二(二一四)
中世後期クレタにおける教会とコミュニティ	高田良太	二(二四六)
北京関税特別会議とワシントン条約後の東アジア秩序の変容	宮田昌明	二(二八一)
具足櫃の金のゆくえ	朝尾直弘	三(三三九)
割符のしくみと為替・流通・金融	伊藤啓介	三(三七四)
澶淵の盟の歴史的背景について	毛利英介	三(四一三)
葬送活動からみたコレギア	佐野光宜	四(四八五)
南北朝期室町幕府仁政方の研究	亀田俊和	四(五一七)
フランシスコ・ピ・イ・マルガルの歴史認識	菊池信彦	四(五四九)
戦時下朝鮮における日本語普及政策	川寄陽	四(五八一)
一七六四年朝鮮通信使と日本の徂徠学	夫馬進	五(六四五)
『象徴天皇制』という言葉―用語の定着過程	富永望	五(六七八)
ムザツファル朝における支配の正統性	杉山雅樹	五(七一四)
平安時代宮廷社会の〈土器〉様式	吉江雅	六(七八九)
フランス軍事占領下のライラントにおける世論(一七九四―一七九七年)	園屋心	六(八一七)
ラタナコーシン朝前期における文書処理システム	川口洋史	六(八五一)

【研究ノート】

中世イタリアのコムーネと司法……………中谷惣三（四四四）

【研究動向】

湖南・樸学・「内」と「外」……………濱田正美（一）

縄文時代集落研究の課題……………泉拓良（一二一）

「二年律令」研究の射程……………宮宅潔（四六）

日本中世都市の空間とその研究視角……………山村亜希（七五）

近世神聖ローマ帝国をめぐる研究動向……………渋谷聡（一〇九）

民主主義・平和主義・社会主義……………田中真人（一三七）

日本における環境史研究の展開……………佐野静代（七四三）

【書評】

皆川卓『等族制国家から国家連合へ』……………石井大輔（一三九）

Alyssa Goldstein Sepinwall, 『The Abbe Gregoire and the French Revolution』……………山中聡（三三四）

竹中幸史『フランス革命と結社』……………遅塚忠躬（二二六）

藤内哲也『近世ヴェネツィアの権力と社会』……………北田葉子（二三一）

都出比呂志『前方後円墳と社会』……………下垣仁志（六一七）

伊藤之雄『昭和天皇と立憲君主制の崩壊』……………河西秀哉（六二六）

岡村秀典編『雲岡石窟 遺物篇』……………八木春生（七七一）

マウラーナー・シャイフとして知られる弟子編著（川本正知訳注）

『一五世紀中央アジアの聖者伝ホージャ・アフラーールのマカマート』……………今松 泰…六（八九三）

【紹介】

角谷英則著『ヴァイキング時代（シリーズ：諸文明の起源9）』……………松 本 涼…五（七七六）

マリア・ロサ・メノカル著『寛容の文化』……………菊 池 信 彦…五（七七七）

アントニオ・ドミンゲス・オルティス『スペイン、三千年の歴史』……………菊 池 信 彦…六（九〇〇）

【訃報】

本会元理事長 越智武臣先生を偲ぶ……………三（四七五）

本会元理事長 佐伯富先生を偲ぶ……………五（七七九）

【会告】

二〇〇五年度史学研究会大会・総会の記録、講演要旨

（泉拓良「フェニキア・テュロス遺跡発掘調査の成果」・石川禎浩「死後の孫文」）……………一（一六五）

理事・評議員会報告……………四（六三五）

史学研究会役員……………四（六三六）